

目次

安全のために -----	1
注意事項 -----	2
LCD モニタに関する特別な注意 -----	6
モニタを操作する前に -----	6
機能 -----	6
梱包の内容 -----	6
取り付け指示 -----	7
コントロールとコネクタ -----	8
表示角度の調整 -----	9
操作上の指示 -----	10
一般的な操作 -----	10
設定の調整方法 -----	11
画像の調整 -----	13-14
プラグアンドプレイ -----	15
技術サポート(FAQ) -----	16-17
エラーメッセージおよび考えられる解決法 -----	18
付録 -----	19
仕様 -----	19-20
工場プリセットのタイミング表 -----	21
コネクタピンの割り当て -----	22

モニタを操作する前に、本書をよく読んでください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

FCC 暮らす B 無線周波数障害声明

警告: (FCC 公認モデル用)

注: 本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお勧めします。

1. 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
2. 本装置と受信機の距離を離す。
3. 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
4. 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

通告:

1. FCC 準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。
2. 放出制限に従うために、シールドされたインタフェースケーブルと AC 電源コードを使用しなければなりません。
3. 承認されていない変更や改造に伴うラジオ、またはテレビの電波障害に関しては、メーカーは責任を負いかねますので、それらの障害につきましては、お客様の責任において修理を行ってください。

当社は ENERGY STAR® のパートナー企業として、本製品がエネルギー効率に関する ENERGY STAR® のガイドラインに準拠していることを宣言いたします。

警告:


火災や感電の原因となるので、モニタを雨や湿気にさらさないでください。モニタの内部は高電圧ですので、キャビネットは外さないでください。内部の点検や修理につきましては、専門技術者にお問い合わせください。


安全上のご注意



ご使用の前に必ずお読みください。



正しくお使いいただくことでお客様への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



「安全上のご注意」の絵表示




 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
---	---










 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
---	---




 注意	この記号は、注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。 例)  「感電注意」を表す絵表示
---	---





 禁止	この記号は禁止の行為(やってはいけないこと)を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 例)  「分解禁止」を表す絵表示
---	---

 厳守	この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 例)  「電源プラグを抜く」を表す絵表示
---	---

警告 	
 厳守	煙がでている、変なにおいがする、変な音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。
 分解禁止	改造・分解はしないでください。お客様による修理は行わないでください。火災や感電、やけど、動作不良の原因となります。

 水濡れ禁止	本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。お風呂場、台所、海岸、水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。
 厳守	本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。
 禁止	本製品は下記のようなところで使用しないでください。 故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。 ●ほこりの多いところ ●振動や衝撃の加わるところ ●不安定なところ ●温度差の激しいところ ●水分や湿気の多いところ ●湿度が高いところ
 禁止	ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因となります。 ●引っ張ったり、折り曲げたりしない ●圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない ●加工しない ●熱器具のそばで使わない
 禁止	ぶついたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
 厳守	電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因となります。電源プラグは根元までしっかりさしてください。根元までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。 電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行わないでください。濡れた手で行うと感電の原因となります。
 厳守  注意  発火注意	電源ケーブルを取り扱うときは以下のことにご注意ください。 ●電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください。 ●電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。 ●濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないでください。感電の原因となります。 ●電源ケーブルのプラグは根元までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してから行ってください。接触不良で火災の原因となります。

 厳守	<p>液晶パネルが破損した場合は、破損部分に直接素手で触れないでください。もし触れてしまった場合は、手をよく洗ってください。</p> <p>万一、破損部が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起す恐れがあります。</p>
 厳守	<p>モニタのリサイクルに関するお問い合わせはAcerまでお願いいたします。Acerに関するさらに詳しい情報はこちらhttp://www.acer.com/のホームページをご覧ください。</p>
 厳守	<p>本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。</p>

注意 	
 注意	<p>長時間に渡って映像を見る場合は、一定の間隔で休憩をとってください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくしてください。</p>
 注意	<p>液晶モニタ画面表面は擦り傷等が付きやすいので、ペン先や爪等で接触しないように注意してください。</p>
 注意	<p>本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。</p>

安全上の注意事項

- モニタを水気のあるところ、例えば浴槽、台所の流し、洗濯機、水泳プール、水場のそばで使用しないでください。
- モニタをぐらぐらするカート、台、テーブルの上に置かないでください。モニタが落ちて、怪我をしたり、装置がひどい損傷を被ることがあります。メーカーの推奨するカートや台、またはモニタに付属するものだけを使用してください。壁や棚にモニタを取り付ける場合は、メーカーが承認する取り付けキットを使用し、キットの取り付け指示に従ってください。
- モニタは、ラベルに指示されているタイプの電源装置以外には使用できません。家庭に供給されている電源のタイプが分からない場合、販売店または電力会社にお問い合わせください。
- モニタには、三番目のアース用ピンの付いた、三又のアース用プラグが付属しています。このプラグは、安全のためにアースされたコンセントにだけ適合します。お使いのコンセントが三芯プラグに対応していない場合、電気技術者に正しいコンセントを取り付けてもらうか、アダプタを使用して装置を安全にアースしてください。アース用プラグを抜いて、アースされたプラグの安全性を無効にしないでください。
- キャビネットの背面と底面のスロットや開口部は、通気のために設けられています。モニタの信頼できる操作を確実にし、モニタの加熱を防ぐために、これらの開口部を塞いだり覆ったりしないでください。モニタをベッド、ソファ、ラグ、または同様の面に置かないでください。モニタをラジエータや熱レジスタの傍または上に置かないでください。適切な通気がない場合、本箱やキャビネットの中にモニタを設置しないでください。
- 雷が鳴っているときや、長期間使用しない場合は、プラグを抜いてください。これで、サージ電流による損傷からモニタが保護されます。
- 電線と延長コードに過負荷をかけないでください。過負荷をかけると、火災や感電の恐れがあります。
- モニタのキャビネットのスロットに異物を入れないでください。回路部分がショートして、火災や感電の原因となります。モニタには絶対に水をこぼさないでください。
- 自分でモニタを修理することはおやめください。カバーを開けたり取り外すと、高電圧やその他の危険にさらされることとなります。修理については、専門技術者にお問い合わせください。
- 満足のゆく操作性を確保するために、モニタは **UL 指定**を受けたコンピュータでのみ使用してください。これは、**100 - 240V AC, Min. 5A** の間でマークされ、適切に構成されたコンセントを搭載しています。
- 装置はコンセントのそばに取り付け、すぐに電源プラグを抜けるようにしてください。
- **UL, CSA 指定**を受けた付属の電源アダプタ(出力 12Vdc)だけを使用するようにしてください。

LCD モニタに関する特別な注意

以下の症状はLCDモニタには正常の状態、故障ではありません。

- 蛍光灯の特性により、初めて使用する場合画面がちらつくことがあります。電源スイッチをオフにしてから再びオンにし、ちらつきが消えることを確認してください。
- 使用するデスクトップのパターンによっては、画面の明るさに多少のむらが出る場合があります。
- LCD 画面は 99.99%以上の有効画素があります。0.01% 以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。
- LCD 画面の特性により、同じ像が何時間も表示されているとき、画像を切り替えた後に前の画面の残像が残っている場合があります。この場合、画像を切り替えたり電源スイッチを数時間オフにすることによって、画面はゆっくりと元の状態に戻ります。

モニタを操作する前に

機能

- 51cm(20") TFT カラー LCD モニタ
- Windows 対応のくっきりした、鮮明な表示
- **推奨解像度: 1680 X 1050 @60Hz**
- エルゴノミクス設計 (TCO'03 公認)
- デュアル入力(DVI + アナログ) (デュアル入力モデル)
- 省スペース、コンパクトな設計
- EPA ENERGY STAR®

梱包の内容

梱包の中には、以下の付属品が含まれています

1. LCD モニタ
2. ユーザーズマニュアル
3. 電源コード
4. 15 pin D-Sub ケーブル
5. DVI ケーブル (デュアル入力モデル)
6. 外部アダプタ
7. オーディオケーブル
8. クイックスタートガイド

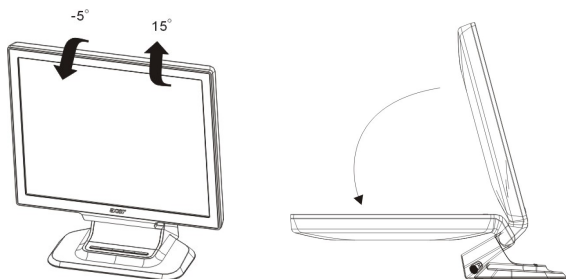
電源コード

電源:

1. 電源コードが、お住まいの地域で要求されている正しいタイプのものであることを確認してください。
2. この LCD モニタには外部ユニバーサル電源装置が装備され、100/120V AC および 220/240V AC 電源地域で操作することが可能になっています（ユーザーの側で調整する必要はありません）。
3. 電源コードをお使いの LCD モニタの電源入力ソケットに接続してから、もう一方の端を 3 ピン AC コンセントに差し込みます。電源コードは、LCD モニタに付属する電源コードのタイプに応じて、コンセントまたは PC の電源出力ソケットに接続することができます。

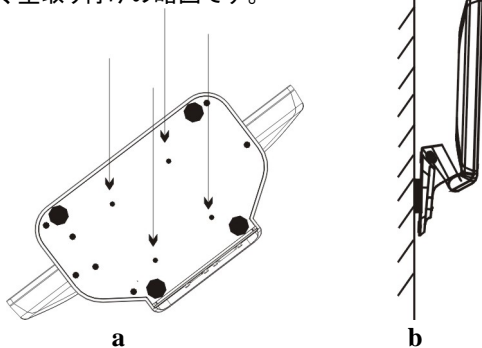
選択または購入した壁マウントブラケット(別売)を固定する

このディスプレイは、壁マウントブラケット(別売)に接続できます。次の図を参照して、ブラケットを電源とケーブルから取り外し、ディスプレイを折り畳みます。



壁マウントブラケットを固定するには、次の手順に従います。

1. 壁マウントブラケットをモニタ下部に当て、ブラケットの穴を通してモニタの下部に取り付けます。図 a で示すようにブラケット(10cm X 10cm)を取り付けます。
2. 4 本のネジを穴に差し込んで締め付けます。
3. ケーブルを再び接続します。壁にモニタを固定する方法の詳細については、ご購入された壁マウントブラケットに付属のユーザーズマニュアルをご覧ください。(本製品は、壁マウントブラケットに付属しておらず、別売です。)
4. 図 b は、壁取り付けの略図です。



コントロールとコネクタ

ケーブル接続

次の手順を実行する前に、コンピュータの電源をオフにしてください。

1. 電源アダプタの DC ケーブルをモニタ背面の DC インポートに接続します。
2. 15 ピン D-Sub ケーブルの一方の端をモニタ背面に接続し、もう一方の端をコンピュータの D-Sub ポートに接続します。
3. (デュアル入力モデル) 24 ピン DVI ケーブルの一方の端をモニタ背面に接続し、もう一方の端をコンピュータの DVI ポートに接続します。
4. オーディオケーブルをモニタのオーディオ入力と PC のオーディオ出力 (緑色のポート) に接続します。
5. モニタの電源ケーブルを手近のコンセントに差し込みます。 電源コードのもう一方の端を電源アダプタに差し込みます。
6. モニタとコンピュータの電源をオンにします。

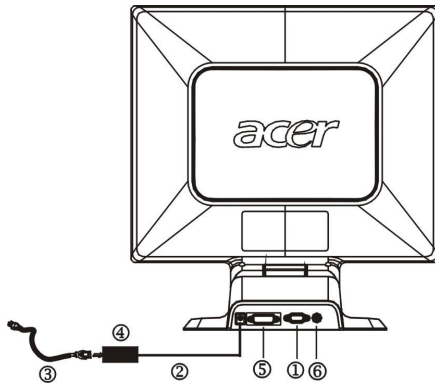


図 1 ケーブルを接続する

1.	D-Sub ケーブル	4.	外部接続用アダプタ
2.	DC-ジャックの電源ケーブル	5.	DVI ケーブル
3.	AC 電源コード	6.	オーディオケーブル

表示角度の調整

- 最適な表示結果を得るために、モニタを真正面から見ることをお勧めします。モニタの角度をお好みの角度に調整してください。
- モニタの角度を変更するときに、モニタが倒れたりしないように台をしっかり持ってください。
- モニタの角度は -5° から 15° まで調整できますが、その際モニタの後方への傾きが 15° を超えることがないようにご注意ください。 15° を超えると、モニタが傾くことがあります。

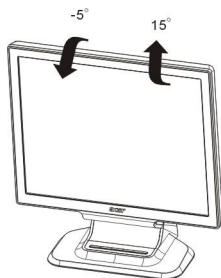


図 2

注：

- 角度を変えるときに、LCD 画面に触れないでください。LCD 画面が破損したり割れる恐れがあります。
- 角度を変えるときに、指や手をはさまないように十分お気をつけください。

操作上の指示

一般的な操作

電源ボタンを押してモニタの電源をオンまたはオフにします。その他のコントロールボタンは、モニタの上部パネルに配置されています（図 3 参照）。設定を変更することにより、画像は各ユーザーのお好みに調整することができます。

- 電源コードを接続します。
- モニタのビデオケーブルをビデオカードに接続します。
- 電源ボタンを押してモニタの電源をオンにします。電源インジケータが点灯します。



図 3 外部コントロールボタン

外部コントロール

1. >/音量	4. MENU (メニュー) / 選択
2. </音量	5. Auto Config (自動設定) / 終了
3. 電源ボタン/電源インジケータ	

フロントパネルコントロール

- **電源ボタン:**

このノブを押すとモニタの電源のオン/オフが切り替わり、モニタの状態を表示します。

- **電源インジケータ:**

青 — 電源オンモード。
オレンジ — オフモード。

- **MENU (メニュー) / 選択:**

OSD がオフのときはアクティブ OSD メニュー、または OSD がオンのときはアクティブ/非アクティブ調整機能、またはボリューム調整 OSD 状態に入っているときは OSD を終了します。

- **</音量:**

OSD がオフのときはボリュームコントロールを有効に、または OSD がオンのときは調整アイコン間を移動、または機能が有効になっているときは機能を調整します。

- **>/音量:**

OSD がオフのときはボリュームコントロールを有効に、または OSD がオンのときは調整アイコン間を移動、または機能が有効になっているときは機能を調整します。

- **自動調整ボタン / 終了:**

1. [OSD] メニューがアクティブ状態になっているとき、このボタンは EXIT-KEY として機能します。 ([OSD の終了] メニュー)
2. [OSD] メニューがオフの状態になっているとき、このボタンを 2 秒以上押すと自動調整機能がアクティブになります。

自動調整機能は、HPos (水平位置)、VPos (垂直位置)、Clock (クロック) および Focus (焦点) を設定するために使用されます。

注:

- ラジエータやエアダクトなどの熱源のそば、または直射日光にさらされる場所、ほこりの多いところ、機械の振動や電気の波動がある場所にモニタを据え付けしないでください。
- モニタを送り返すときに必要となる場合があるので、製品を梱包していた箱と梱包材料は捨てずに保管しておいてください。
- 製品を最大限に保護するには、工場で最初に梱包されたのと同じように梱包しなおしてください。
- モニタがいつまでも新品に見えるようにするには、柔らかい布で定期的に拭いてください。キャビネットの頑固な汚れは、弱い洗剤で軽く湿らせた布で取り除くことができます。シンナー、ベンジン、研磨剤などの強い溶剤はキャビネットを損傷することがあるので、絶対に使用しないでください。安全上の注意事項として、クリーニングする前には常にモニタのプラグを抜いてください。(但しパネルは絶対に拭かないでください)

設定の調整方法

1. [メニュー] ボタンを押して、OSD ウィンドウをアクティブにします。
2. < または > を押して、希望する機能を選択します。
3. [メニュー] ボタンを押して、調整したい機能を選択します。
4. < または > を押して、現在の機能の設定を変更します。
5. 終了して保存するには、終了機能を選択するか、他の機能も調整したい場合、同様に手順 2~4 を繰り返してください。



I. (アナログのみモード)



II. (デュアル入力モデル、アナログ信号入力)



III. (デュアル入力モデル、デジタル信号入力)

画像の調整

機能コントロールLEDの説明

メインメニューアイコン	サブメニューアイコン	サブメニューアイテム	説明
		コントラスト	画像のコントラストを調整します。
		輝度	画像の明るさを調整します。
		フェーズ	写真の焦点を調整します(この調整は、アナログ入力ソースの場合のみ有効です)。
		クロック	写真クロックを調整します(この調整は、アナログ入力ソースの場合のみ有効です)。
		水平位置	写真の焦点を調整します(アナログモードのみ有効です)。
		垂直位置	写真クロックを調整します(アナログモードのみ有効です)。
	該当なし	暖色	色温度を暖かい白に設定します。
	該当なし	寒色	色温度を冷たい白に設定します。
		ユーザー設定/ 赤	Adjusts 赤/緑/青の強度を著精します。
		ユーザー設定/ 緑	

		ユーザー設定/ 青	
	該当なし	言語	多言語の選択。
		水平位置	OSD の水平位置を調整します。
		垂直位置	OSD の垂直位置を調整します。
		OSD 表示時間 設定	OSD タイムアウトを調整します。
 (アナログ のみモデル)	該当なし	自動調整	水平/垂直 V 位置、焦点、画像のクロックを自動調整します。
 (デュアル 入力モデル)	該当なし	アナログ	アナログから入力信号を選択します(D-Sub)
	該当なし	デジタル	デジタルから入力信号を選択します(DVI)
	該当なし	情報	解像度、水平/垂直周波数、現在の入力タイミングの入力ポートを表示します。
	該当なし	リセット	自動構成のそれぞれの古いステータスをクリアし、自動構成をやり直します。
	該当なし	終了	ユーザー調整を保存し、OSD は表示されなくなります。

プラグアンドプレイ

プラグアンドプレイ DDC2B 機能

このモニターには、VESA DDC 規格に従った VESA DDC2B 機能が装備されています。これによって、モニターはホストシステムにその身元を通知し、また使用している DDC のレベルに応じて、そのディスプレイ機能に関する追加情報を知らせることができます。

DDC2B は PC プロトコルに基づく二方向性のデータチャンネルです。ホストは DDC2B チャンネルを介して EDID 情報を要求することができます。

このモニターは、ビデオ入力信号がない場合、非機能として表示されます。このモニターを適切に操作するためには、ビデオ入力信号がなければなりません。

本モニターは、ビデオ電子標準協会(VESA)、スウェーデン産業技術開発庁(NUTEK)が設定したグリーンモニター基準を満たしています。この機能は、ビデオ入力信号がないときに、消費電力を削減することによって電力エネルギーを節約するために設計されています。ビデオ入力信号がない場合、本モニターは、タイムアウト期間に従って、オフモードに自動的に切り替わります。これにより、モニターの内部電力消費が抑えられます。ビデオ入力信号が復旧すると、全電力が回復し、ディスプレイが自動的に再描画されます。外見は「スクリーンセーバー」に似ていますが、ディスプレイが完全にオフになっている点が異なります。ディスプレイは、キーボードのどれかのキーを押すか、マウスをクリックすると再び表示されます。

技術サポート (FAQ)

こんなとき	点検と対策
Power LED が点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> *電源スイッチがオンの位置にあるかどうかチェックします *電源コードは接続されていますか
プラグアンドプレイが有効にならない	<ul style="list-style-type: none"> *PC システムがプラグアンドプレイ互換かどうかをチェックします *ビデオカードがプラグアンドプレイ互換であるかどうかチェックします *ビデオケーブルの D-15 プラグピンが曲がっていないかチェックします
画像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> *コントラストと輝度コントロールを調整します または解像度を
画像が揺れる、または波形パターンが画像に表示される	<ul style="list-style-type: none"> *電波障害を引き起こしている電気装置をモニタから離します
電源 LED はオン (ライトブルー) になっているが、ビデオまたは画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> *コンピュータの電源スイッチはオンの位置になっていますか *コンピュータのビデオカードはそのスロットにきちんと収まっていますか *モニタのビデオケーブルがコンピュータに正しく接続されているかどうか確認します *モニタのビデオケーブルのモニタを検査して、ピンが曲がっていないかどうか確認します *CAPS LOCK LED を観察しながらキーボードの CAPS LOCK キーを叩いて、コンピュータが機能を果たしているかどうか確認します。CAPS LOCK キーを叩くと、LED はオンまたはオフになります
三原色 (赤、緑、青) のどれかが欠けている	<ul style="list-style-type: none"> *モニタのビデオケーブルのモニタを検査して、ピンが曲がっていないか確認します

画面の画像がセンタリングされない、または適切な比率で表示されない	*画素周波数 (CLOCK) と焦点を調整するか、Auto キー (自動キー) を押します
画像に色欠けがある (白が白に見えない)	*三原色を調整し、色温度を選択します
画面が水平または垂直に乱れる	*Windows 終了画面を使用し、CLOCK または FOCUS を調整するか、Auto キー (自動キー) を実行します

CLOCK (画素周波数) は、一回の水平スウィープによって走査される画素数をコントロールします。周波数が正しくないと、画面に垂直の線が現れ、画像は正しい幅で表示されません。

FOCUS は画素クロック信号のフェーズを調整します。フェーズ調整が正しくないと、明るい画像では、画像が水平に乱れます。

FOCUS および CLOCK を調整する場合は、「ドットパターン」または Windows 終了画面パターンを使用してください。

エラーメッセージおよび考えられる解決法

ケーブルが接続されていません：

1. 信号ケーブルが正しく接続されているかチェックします。接続がゆるい場合、コネクタのネジをしっかりと締めてください。
2. 信号ケーブルの接続ピンが破損していないかチェックします。

入力がサポートされていません：

お使いのコンピュータが不適切なディスプレイモードに設定されています。コンピュータを次の表に表示されているディスプレイモードに設定してください (p18 をご覧ください)。

付録

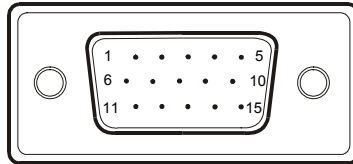
仕様

LCD パネル	駆動システム	TFT カラー LCD
	サイズ	51cm(20")
	ピクセルピッチ	0.258mm(H) × 0.258mm(V)
	輝度	300cd/m ² (Typ.)
	コントラスト	800:1(Typ.)
	可視角度	176° (H) 176° (V)
	レスポンスタイム	8ms(応答速度)
入力	ビデオ	R,G,B アナログインターフェイス デジタル (デュアル入力モデル)
	H-周波数	30kHz – 91kHz
	V-周波数	55-85Hz
表示カラー		16 万 7 千色
ドットクロック		202MHz
最高解像度		1680 × 1050 @75Hz
プラグ & プレイ		VESA DDC2B™
消費電力	オンモード	≤49W
	オフモード	≤1W
入力コネクタ		15-ピン D-サブ
		DVI 24 ピン (デュアル入力モデル)
入力ビデオ信号		アナログ:0.7Vp-p(標準), 75 OHM, 陽極
		デジタル信号 (デュアル入力モデル)
最大画面サイズ		水平方向 : 432mm 垂直方向 : 270mm
電源		100~240VAC, 47~63Hz
設置環境		稼働温度: 0° to 40°C 保存用温度: -20° to 60°C 稼働湿度: 10% to 90%
寸法		480 (W) x 172 (H) x 408 (D)mm
重量 (N. W.)		6.5kg 本体 (正量)

外部コントロール:	スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動調整キー ● </音量 ● >/音量 ● 電源ボタン ● メニュー/選択
	機能	<ul style="list-style-type: none"> ● コントラスト ● 輝度 ● フェーズ ● クロック ● 水平位置 ● 垂直位置 ● 暖色 ● 寒色 ● RGB 色温度 ● 言語 ● OSD 位置タイムアウト ● 自動調整(アナログモデルのみ) ● 入力信号の選択 (デュアルモデルのみ) ● ディスプレイ情報 ● リコール ● 終了
消費電力(最大)		49 W
オーディオ入力		定格出力 1.5W rms (チャンネルごとに)
法規制の順守		CUL, FCC, VCCI, CCC, MPR II, CE, TÜV/GS, TCO'03, UL, ISO13406-2

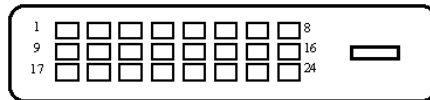
VESA						
		行頻		場頻		
分辨率	合計	公称周波数 +/- 0.5kHz	同期極 性	公称周波 数 +/- 0.5kHz	同期極性	公称ピクセル クロック (MHz)
640 x 480@60Hz	800X525	31.469	N	59.940	N	25.175
640 x 480@72Hz	832X520	37.861	N	72.809	N	31.500
640 x 480@75Hz	840X500	37.500	N	75.00	N	31.500
640 x 480@85Hz	832X509	43.269	N	85.008	N	36.000
800 x 600@56Hz	1024X625	31.156	N/P	56.250	N/P	36.000
800 x 600@60Hz	1056X628	37.879	P	60.317	P	40.000
800 x 600@72Hz	1040X666	48.077	P	72.188	P	50.000
800 x 600@75Hz	1056X625	46.875	P	75.000	P	49.500
800 x 600@85Hz	1048X631	53.674	P	85.061	P	56.250
1024x768@60Hz	1344X806	48.363	N	60.004	N	65.000
1024x768@70Hz	1328X806	56.476	N	70.069	N	75.000
1024x768@75Hz	1312X800	60.023	P	75.029	P	78.750
1024x768@85Hz	1376X808	68.677	P	84.997	P	94.5
1280x1024@60Hz	1688X1066	63.981	P	60.020	P	108.000
1280x1024@75Hz	1688X1066	79.976	P	75.025	P	135.000
1280x1024@85Hz	1728X1072	91.146	P	85.02	P	157.5
1680x1050@60Hz	2240X1089	65.29	N	59.95	P	146.25
1680x1050@75Hz (D-SUB only)	2272X1099	82.3	N	74.89	P	187
IBM						
		行頻		場頻		
720X400@70Hz	900X449	31.469	N	70.087	P	28.322
640X350@70Hz	800X449	31.469	P	70.087	N	25.175
1024X768@72Hz	1304X798	57.515	P	72.1	P	75.000
MAC						
640X480@67Hz	864X525	35.000	N	66.667	N	30.240
832X624@75Hz	1152X667	49.725	N	74.551	N	57.2832
1024X768@60Hz	1312X813	48.780	N	60.001	N	64.000
1024X768@75Hz	1328X804	60.241	N	74.927	N	80.000

コネクタピンの割り当て



15 – ピンカラーディスプレイの信号ケーブル

ピン番号	説明	ピン番号	説明
1.	赤	9.	+5V
2.	緑	10.	論理アース
3.	青	11.	モニタアース
4.	モニタアース	12.	DDC-シリアルデータ
5.	DDC-復帰	13.	H-同期
6.	R-アース	14.	V-同期
7.	G-アース	15.	DDC-シリアルクロック
8.	B-アース		



24 – ピンカラーディスプレイの信号ケーブル

ピン番号	説明	ピン番号	説明
1.	TMDS データ 2-	13.	TMDS データ 3+
2.	TMDS データ 2+	14.	+5V 電源
3.	TMDS データ 2/4 シールド	15.	アース(+5V 用)
4.	TMDS データ 4-	16.	ホットプラグの検出
5.	TMDS データ 4+	17.	TMDS データ 0-
6.	DDC クロック	18.	TMDS データ 0+
7.	DDC データ	19.	TMDS データ 0/5 シールド
8.	アナログ垂直同期	20.	TMDS データ 5-
9.	TMDS データ 1-	21.	TMDS データ 5+
10.	TMDS データ 1+	22.	TMDS クロックシールド
11.	TMDS データ 1/3 シールド	23.	TMDS クロック +
12.	TMDS データ 3-	24.	TMDS クロック -